「西の芦屋・東の天明」時代を超えた

青少年交流事業

室町時代「西の芦屋、東の天明（てんみょう）」と呼ばれ、一世を風靡（ふうび）した「芦屋釜」と「天明釜」。この二大名釜（めいふ）のひとつ、天明釜のふるさとである栃木県佐野市との青少年交流事業が、今年で31年目を迎えました。今年は、芦屋町の小中学生12人が佐野市を訪問し、佐野市の小中学生13人とともに、「デコレーションベーゴマ作り」や「こどもサミット」などで交流を深めました。

栃木県佐野市との青少年交流事業 in 佐野市（８月７日～９日）

デコレーションベーゴマ作り

山鹿小学校５年　重岡蒼馬（あおば）

実際にベーゴマを回しました！

最初にベーゴマがどういう素材で作られているかを学び、芦屋釜と同じ鋳物で作られていることが分かりました。実際にベーゴマを回してみると、想像よりも回すのが難しく、それ以上にベーゴマにひもを巻くことが難しかったです。

こどもサミット

芦屋東小学校５年　宮内美波

お互いの市町の魅力を紹介！

私たちの班は、芦屋町の伝統や食文化、文化財について紹介しました。発表は緊張しましたが、佐野市の人たちに芦屋町の魅力を伝えることができて良かったです。私もこどもサミットを通して、芦屋釜と天明釜の違いを改めて知りました。今回学んだ芦屋町や佐野市のことを周りの人に伝えていきたいです。

日光東照宮ウォークラリー

芦屋中学校１年　岡田陽葵（ひまり）

三猿や眠り猫も見ました！

本地堂の中へ入ると天井には大きな鳴き龍の絵がありました。鳴き龍の顔の真下で拍子木を叩くと部屋中に音が響きわたっていました。ウォークラリーの班は、まだ話してない人がほとんどだったので、まだ話していない人たちとたくさん仲を深めることができました。

佐野らーめん作り

芦屋中学校１年　山野虹泉（ななみ）

竹を使い麺の生地を伸ばしました。片足を竹に乗せてジャンプしながら前後に動くのはとても難しかったし、大変でした。麺切りカッターで生地を切った後、手で麺をにぎってちぢれさせました。力を加えすぎて麺が切れないかと不安だったけど、とても楽しかったです。班の人と協力して作ったらーめんはとても美味しかったです。

青竹打ちは大変でした！

３日間の感想

芦屋東小学校６年　藤堂菫花（すみれ）

とても楽しい３日間でした！

芦屋町のことや佐野市のことを楽しく知ることができ、とてもいい思い出となりました。そして、皆さんの支えがあり、とても楽しい交流会ができました。私も大人になったら、誰かのために何かをしてあげるという優しい大人になろうと思いました。

芦屋町 地域おこし協力隊

地域おこし協力隊とは？

人口減少や高齢化などが進む地方で、地域外の人を受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その地域への定住・定着を図ることで、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。

▷問い合わせ　シティプロモーション係（☎２２３－３５７１）

料所（りょうしょ） 宏会（ひろえ）（４号）〔遠賀町出身〕

フォローお願いします！
インスタグラム

芦屋町に来て２回目のあしや砂像展です。今年はどんな作品になるか楽しみにしています！

◁こどもたちと一緒に砂像制作体験をしました！

● 10 月 25 日㊎から「あしや砂像展」が始まりますね！今年のテーマは音楽です！ 私はテーマを聞いた時から、どんな砂像が出来上がるのかワクワクしていました (*´▽`*) 皆さんは「音楽」と聞いてどんな砂像を想像しますか？ぜひ会場で皆さんの予想通りの砂像があるかどうか確認してみてくださいね！

今年も地域おこし協力隊兼あしや砂像展実行委員としてイベントの周知を頑張りました！同じく実行委員の中尾（地域おこし協力隊５号）と一緒に、芦屋町内や近隣市町村の各施設へ直接ポスターを配りました。直接お渡しすることで、いつも以上にイベントの印象を残せたのではないかなと思っています。ポスターを目にした人達があしや砂像展に足を運んでくださいますように！

また、アクティブシニアを対象にしたあしや砂像展・芦屋釜の里周遊ツアーを企画しました。企画中には他の実行委員さんから意見をもらい、芦屋町ブランド認定品や芦屋港レジャー港化事業の PR 時間を入れるなど、限られた時間でできるだけ多くの魅力を伝えられるように工夫しました。参加者さんに満足してもらえるように頑張ります！

（４号 料所）

脇田（わきた） 彩友美（あゆみ）（６号）〔糟屋郡出身〕

こちらもフォローお願いします！
インスタグラム

猛暑に負けないように、毎日自家製の米麹あんこを食べて腸活しています。室温が高すぎてたまに腐らせてしまい、私の心もねばねばになります。

● 11 月 1 日㊎、ついに芦屋釜の里資料館（展示施設）がリニューアルオープンですね！国重要文化財の「芦屋霰地真形釜」を間近で見られると思うとワクワクします！

芦屋釜の歴史を調べると、釜を製作した記録がほぼ残っていないそうで、芦屋鋳物師が製作していた梵鐘の記録などで推測して 14 世紀ごろだそうです。600 年以上昔の釜が現代に残っているとはロマンですね！私の芦屋町のマンガも後世に残って学者さんに研究されたいです。

（6 号 脇田）